



整備作業中にフォークリフトを運転する様子

## 概要

## ◆氏名・所在地

外崎 二郎 北海道常呂郡置戸町

## ◆就農年月

令和6年10月

## ◆事業内容

雇用就農先（経営面積530ha）で馬鈴薯、甜菜、小麦、大豆、小豆、加工用スイートコーンの栽培に取り組む。

## 1

## 就農相談までの背景

教員として中学校に勤めていたとき、課外授業で農業と触れ合う機会があり農業に魅力を感じていた。教員を退職し、以前から気になっていた農業の仕事について調べ始めた。興味は持っていたものの全くの未経験で、農業をしている知人もいなかった。その状況から農業を始めるためにはどうしたらいいかわからず、インターネットで情報を集める中で北海道農業経営・就農支援センター（以下「支援センター」という。）を知った。

## 2

## 相談内容

全くの未経験から就農するにはどのような選択肢があるのか教えてほしい。また、就農にあたってどんなことを学べばよいか、活用できる制度があるかについて具体的なアドバイスがほしい。

## 3

## 支援内容

## ●農業をはじめするための相談対応

【支援センターにて対面相談：令和6年5月】

雇用就農と独立就農など就農方法のイロハを説明し、農業体験の経験がなく全くの白紙状態だったので、「まずは体験して農業が好きかどうか確かめること」を勧め、石狩振興局主催の「いしかり農業体験ツアー」を紹介した。

## ●「いしかり農業体験ツアー」に参加

直接、農業者と対話し、実際に農業を体験することで「農業に興味がわき楽しかった」との感想で、自治体等担当者との個別相談イベント「北海道新規就農フェア」への参加を勧めた。

## ●北海道新規就農フェアでの出会い

道内から60市町村が参加した支援センター主催の「北海道新規就農フェア」に参加し、数ブースで相談する。

その中に置戸町があり、町役場の仲介で畑作を中心とした農業法人「勝山グリーンファーム」の担当者から仕事内容や職場環境、農村生活などの説明を受け、この法人に魅力を感じ令和6年9月から1か月間の就業体験をした。

この就業体験での馬鈴薯収穫のやりがい決め手となり、令和6年10月から雇用就農した。



農業体験ツアーにて栽培の説明を受け、収穫作業を体験



北海道新規就農フェアに参加し置戸町のブースで相談

## 今後の意気込み

雇用就農先の勝山グリーンファームでは、営農や農業経営について一から丁寧に指導していただいています。また機械作業の免許取得など、従業員への手厚いサポート体制があり、学びの多い充実した日々を過ごしています。

置戸町は自然豊かで何より人が温かく、仕事以外でもいろいろな面で支えられています。まだまだ学ぶことがたくさんありますが、少しずつ力をつけて法人や地域に貢献できるようになりたいと考えています。この出会いのきっかけになった「支援センター」のスタッフの方々にも大変お世話になりました。感謝をお伝えしたいと思います。

## 専属スタッフ所感

一見して好青年、礼儀正しく、人の話をよく聴き、行動力と決断力のある方でした。体験ツアーを勧めると、直に参加したいとの返事があり、就農に対する熱意を感じました。その熱意から積極的にイベントに参加したことで、意中の農業法人と出会い、短期間のうちに雇用就農が決まったと思います。

農業法人からの評価は高く、既にトラクタに乗って第一線で活躍しています。さらにスキルを磨くことで、構成員や独立就農の道も拓けると思います。